

# 社会科学習指導案

日 時 令和2年10月30日(金) 5校時  
場 所 1年2組教室  
学 級 1年2組(男子15名、女子16名 計31名)  
授業者 教諭 金子 愛妃

## 1 単元名 第1編 第3章 世界の諸地域 2 アフリカの人々の暮らしとその変化

### 2 単元について

#### (1) 生徒の実態

本学級の生徒は、全体的に落ち着いて授業に取り組む生徒が多い。積極的に発言する生徒はやや固定化している傾向にあるが、他の生徒の発言やつぶやきなどをよく聞き、全体の課題として共有することができる。多くの生徒が集中して授業に参加している一方で、盛り上がる場面と集中する場面とのメリハリをつけられない生徒や、集中力に欠ける生徒が少数見られる。

本単元について、多くの生徒がアフリカ州に関する知識・理解に乏しく、偏った情報やイメージを持っている生徒も多い。多くの生徒にとって馴染みの薄い単元であるからこそ、遠いアフリカの人々の暮らしの特色を知り、アフリカの国が抱える課題が、私たちの生活と密接に結びついていることを多面的・多角的に考察させ、自分たちの言葉で表現できるようにしたい。

#### (2) 教材観

本単元は、学習指導要領の地理的分野の2 内容のB「世界の様々な地域」の(2)「世界の諸地域」③「アフリカ」を指導内容として構成したものである。学習指導要領では「世界の諸地域」について、各州において、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、知識、思考力、判断力、表現力等を身に付けることとしている。

そこで本単元では、「アフリカの人々の暮らしとその変化」を主題に設定し、地域で見られる地球的課題である「自然環境」「貧困」「教育」「食料問題」「紛争」「モノカルチャー経済」などを取り上げ、これらの課題と、アフリカから資源や農産物を大量に輸入している日本のような先進国と、私たちの生活とが密接に結びついていることに気がつき、アフリカの人々の暮らしの様子や、抱える課題の背景や根本的な原因について考えることで、今後の地理や歴史、公民の学習を通して、日本や自分がこの課題とどう向き合い、持続可能な社会づくりと関わっていきけるかという社会形成への参画につなげたい。

#### (3) 指導観

本単元が多くの生徒にとって馴染みが薄く、アフリカ州に対する知識・理解が乏しいからこそ、主体的な学びにつなげるために、生徒の興味・関心を高める資料を提示し、学ぶ意欲を持たせたい。また、グループ学習を取り入れることで、生徒同士が目的意識を共有し、級友の意見を聞くことで自分の考えと繋がりを持たせるなどして、思考を深めることができると考える。こうして深めたグループの考えをもとに、学級全体で課題を追究させたい。最後に、グループや全体で考えたり、話し合ったりしたことをもとに、追究課題についてもう一度個人に考えさせ、自分の考えを自分の言葉で表現させたい。

### 3 単元の目標

- ①アフリカ州の人々の暮らしとその変化をもとに地域的特色を理解し、身に付ける。また、アフリカ州の地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする。
- ②アフリカ州の人々の暮らしとその変化を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。
- ③アフリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえる。

### 4 単元の指導計画と評価規準

#### (1) 指導計画

##### 第1編 世界の様々な地域

##### 第3章 世界の諸地域

##### 2 アフリカの人々の暮らしとその変化

- ①アフリカをながめて……………1時間
- ②アフリカの歩みと多様な民族…1時間
- ③伝統的な農村のいま……………1時間
- ④変わる人々の暮らし……………1時間
- ⑤学習のまとめと表現（本時）

#### (2) 単元の評価規準

章・学習項目	知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第3章 世界の諸地域 2 アフリカの人々の暮らしとその変化	アフリカ州の人々の暮らしとその変化をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	アフリカ州の人々の暮らしとその変化をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	アフリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。

### 5 本時の指導

#### (1) 指導目標

アフリカ州は資源や農産物が豊富なのに関わらず、貧しさから抜け出せない国が多い理由について、アフリカが抱える課題の現状や背景をもとに、自分なりの考えをもち、自分の言葉で表現できる。

#### (2) 本時の評価規準

アフリカ州の多くの国が貧しさから抜け出せない理由について、グループや全体での考察をもとにしながら、最大の原因として考えられる課題を個人で選択して書いている。その選択の理由について自分の考えを書いている。 【思考力、判断力、表現力等】

(3) 本時の展開

	学習活動	学習内容	主体的・協働的に学ぶための工夫	指導上の留意点 ○留意点●評価
導入 (課題把握)  5分	1 単元の学習をふり返り、アフリカの豊富な鉱産資源や農産物の生産がアフリカの豊かさにつながっていないことを確認する。	1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な鉱産資源</li> <li>・豊富な農産物</li> <li>・アフリカの貧しさ</li> </ul>		○前時までの学習をふり返り、テンポよく確認する。生徒に発言させ、キーワードを引き出させる。
	2 本時の学習課題を把握する。	2 本時の課題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">アフリカ州では、なぜ多くの国が貧しさから抜け出せないのだろう。</div>		
展開 (課題追究)  35分	3 課題追究の視点となるアフリカが抱える6つの課題を確認する。	3 6つの課題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">①植民地支配 ②紛争 ③食料 ④教育 ⑤工業化の遅れ ⑥モノカルチャー経済</div>		○前時までに6つの課題についてその原因や内容をおさえ、キーワードでとらえさせる。
	4 6つの課題のうち、アフリカ州が貧しさから抜け出せない理由として関係が深い項目を個人で3つ選択してランキングし、1位の項目を選んだ理由を書く。	4 課題解決にせまる3つの視点	・個人で3つを選択し、ランキングさせることで、自分事として考えさせる。【主体的】	○既習内容を想起しながら3つを選択させ、根拠をもってランキングさせる。 ●既習内容をもとに、アフリカが貧しさから抜け出せない理由について、3つ選択している。【思考力・判断力】 ●ランキングの理由を自分の言葉で書いている。【表現力】
	5 4人グループで個人のランキングと理由を交流し、グループで、最も課題解決に関係が深い項目を1つ選び、その理由を示す。	5 課題解決にせまるための他の生徒の考え	・他の生徒やグループの意見に共感したり、異なる視点に気づいたりさせる。【協働的】	
	6 グループの選択と理由を発表する。	6 課題解決にせまるための他のグループの考え		○発表内容を黒板に端的に残し、まとめに活かせるようにする。

